

今治市公用車管理システム運営業務委託 公募型プロポーザル企画提案評価項目及び評価基準

1 基本方針

本業務の受託者の選定にあたっては、「今治市公用車管理システム運営業務委託 提案要求仕様書」等の関係書類を基本とした上で、提出された企画提案書の内容、プレゼンテーション及びヒアリングにおける説明・質疑応答から、各提案者について以下の項目を評価し、受託候補者の順位付けを行う。

2 評価項目、評価の視点及び配点

評価は 100 点を満点とし、評価項目別に次のとおり配点する。

評価区分	評価項目	評価の視点	配点
実績	① 業務実績	自治体等において、公用車管理、車両予約・配車、鍵管理等、本業務と同種又は類似する業務の実績を有しているか。実績の内容・規模・継続性等は十分か。	10
業務遂行力	② 業務実施体制・運用保守	本市からの問い合わせ、障害・インシデント対応、現地対応等に迅速かつ的確に対応できる体制となっているか。責任者、担当者、協力事業者を含め、安定運用が可能な体制か。	10
提案評価 (システム)	③ 基本機能・操作性	予約、貸出・返却、運転日誌、アルコールチェック、車両情報、管理者機能等の基本機能が仕様を満たし、職員が分かりやすく直感的に利用できる UI/UX となっているか。スマートフォン・タブレットへの対応も含め、利便性が高いか。	15
	④ 予約・貸出・返却機能	車両条件による検索・絞り込み、重複予約防止、予約状況の一覧確認、貸出・返却処理等が円滑に行えるか。予約完了等の通知、未返却・返却遅延への対応等が効果的か。	10
	⑤ 空予約対策・自動配車	未利用予約の取消・自動取消等により空予約を抑制できる仕組みが十分か。また、利用条件等を踏まえた最適車両の提案・自動配車等が、本市の運用に有効なものとなっているか。	10
	⑥ 鍵管理機能	予約情報と鍵管理機が適切に連動・連携し、予約車両の鍵のみ取り出せる等の管理ができるか。履歴管理、未返却・誤返却・返却遅延への対応、不正開錠防止、停電・通信障害・システム障害時の非常時対応等は十分か。	10
	⑦ 集計・分析・台数適正化	車両別・所属別・時間帯別等の利用状況、稼働率、走行距離、空予約率、返却遅延等を適切に集計・分析できるか。分析結果が公用車の適正配置・保有台数及び車種構成の検討に有効に活用できるか。	10
提案評価（セキュリティ）	⑧ セキュリティ・データ管理	本市の情報セキュリティポリシー等を踏まえ、認証・権限管理、通信・データ保護、バックアップ、ログ管理、脆弱性・不正アクセス対策等が十分か。データの返還・削除、契約終了時の対応も適切か。	10
導入・運用	⑨ 導入支援・研修・障害対応	初期設定、データ登録支援、鍵管理機の設置・設定、マニュアル、管理者・利用者研修、動画教材、稼働開始時支援等が具体的か。障害・インシデント発生時の連絡・報告・復旧・再発防止の考え方が十分か。	10

評価区分	評価項目	評価の視点	配点
価格評価	⑩ 見積金額	本仕様書に沿った費用が提示されており、業務実施に支障がないか。また、他の提案者と比較してどうか。	5

3 評価方法

- (1) 評価項目①から⑨については、次の6段階の評価基準に基づき評価し、各評価項目の配点に評価倍率を乗じて評価点を算出する。

評価	評価基準	配点の倍率
A	非常に優れている	×1.0
B	優れている	×0.8
C	普通	×0.6
D	やや不十分	×0.4
E	不十分	×0.2
F	要件を満たしていない、又は提案内容が示されていない	×0

- (2) 評価項目⑩「見積金額」は、次の算式により評価点を算出する。

評価基準及び配点の倍率(小数点以下切り捨て)	
$\text{評価点(5点)} \times \frac{\text{最低見積価格}}{\text{提案者見積価格}}$	

4 受託候補者の決定方法

選定委員の評価点を合計し、得点の高い者から順位付けを行う。ただし、評価項目①～⑨までに係る全委員の平均得点が6割(57点)に満たない場合は、要求水準を満たしていないものとみなし、受託候補者とししない。

5 最高得点者が複数となった場合

最高得点を挙げた者が2者以上ある場合は、次の順により順位を決定する。

- (1) 評価項目③「基本機能・操作性」の得点が最も高い者。
- (2) (1) が同点の場合は、評価項目⑦「集計・分析・台数適正化」の得点が最も高い者。
- (3) (2) が同点の場合は、見積金額の最も安価な者。